

平成29年度

年 報

HOKKAIDO MUSEUM OF LITERATURE

北海道立文学館

〈指定管理者〉公益財団法人 北海道文学館

## ■ 目 次 ■

◆目的及び事業	2～3
◆平成 29 年度事業概要	
I 文学資料の収集・整理・保存及び閲覧事業	4
II 展覧会事業 (1) 展覧会開催事業	4
(2) 常設展の展示構成	5
III 教育普及事業	6
IV 北海道文学に関する調査研究事業	9
V 文学愛好団体等の活動に対する支援事業	9
VI 啓発広報事業	10
VII 刊行物の刊行事業	10
VIII その他の付帯事業	10
◆統計・資料	
I 平成 29 年度 展覧会別観覧状況	11
II 平成 29 年度 事業別利用状況	11
III 平成 29 年度 資料収集状況	12
◆組織及び職員	
I 組織機構図	13
II 職員	13
◆その他	
I 文学館の歩み	14～15
II 諸会議・運営日誌	16～19
III 公益財団法人北海道文学館役員名簿	20

## ■ 目的及び事業 ■

### ●北海道立博物館条例（抄）

（設置）

第1条 北海道における教育、学術及び文化の振興を図るため、北海道立博物館（以下「博物館」という。）を設置する。

（名称及び位置）

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
北海道立北方民族博物館	網走市
北海道立文学館	札幌市
北海道立釧路芸術館	釧路市

（事業）

第3条 博物館は、次の事業を行う。

- (1) 資料を収集し、保管し、展示し、及び閲覧に供すること。
- (2) 展覧会、講演会等の催しを開催し、及び他のものが行うこれらの催しに協力すること。
- (3) 資料の利用に関し、必要な説明、助言等を行うこと。
- (4) 博物館（北海道立北方民族博物館（第6条において「北方民族博物館」という。）を除く。）の施設及び設備（以下「施設等」という。）を文学、美術等芸術に関する催しの利用に供すること。
- (5) 資料に関する専門的又は技術的な調査研究を行うこと。
- (6) 資料の保管、展示等に関する技術的な研究を行うこと。
- (7) 解説書、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (8) 他の博物館等と連携し、及び協力すること。
- (9) 地域の教育文化施設が行う北方文化、文学、美術等芸術に関する活動を援助すること。
- (10) その他設置の目的を達成するために必要な事業

（指定管理者による管理）

第4条 博物館の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定による指定を受けた法人その他の団体（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

（指定管理者が行う業務の範囲）

第5条 指定管理者が行う業務は、次のとおりとする。

- (1) 第3条各号（第5号及び第6号を除く。）に掲げる事業に関すること。
- (2) 第8条第1項、第13条及び第16条第2項の承認に関すること。
- (3) 施設等の維持管理に関すること。
- (4) その他教育委員会が定める業務

（開館時間）

第6条 博物館の開館時間は、午前9時30分から午後5時まで（北方民族博物館にあつては、午前9時30分から午後4時30分まで）とする。ただし、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、臨時に開館時間を変更することができる。

(休館日)

第7条 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、博物館の管理運営上必要があるときその他特に必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、休館日に開館し、又は臨時に休館することができる。

- (1) 月曜日（当該日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、休日に該当しない当該日の直後の日）
- (2) 12月29日から翌年の1月3日まで

(利用料金)

第12条 利用者は、その利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者に納めなければならない。

- 2 大学等（大学その他規則で定める学校をいう。以下同じ。）は、その学生が博物館に展示する資料（常設展示に限る。）を観覧する場合の利用料金として、年間利用料金を指定管理者に納めることができる。
- 3 前2項の規定により指定管理者に納められた利用料金及び年間利用料金（以下この条において「利用料金等」という。）は、指定管理者の収入とする。
- 4 利用料金の額は別表第1に定める額の範囲内、年間利用料金の額は別表第2に定める額の範囲内において、それぞれ指定管理者が知事の承認を受けて定める。これらを変更しようとするときも、同様とする。

別表第1（第12条関係）

1 博物館に展示する資料を観覧する場合

(2) 北海道立文学館及び北海道立釧路芸術館の常設展示の場合

区分	利用料金の上限額	
	個人	10人以上の団体
1 高等学校の生徒、大学の学生及びこれらに準ずる者	500円	1人に 330円 つき
2 1以外の者（学齢に達しない者、小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者を除く。）	950円	1人に 790円 つき

2 北海道立文学館の特別展示室又は講堂を利用する場合

区分	利用料金の上限額		
	午前	午後	1日
特別展示室			85,080円
講堂	12,310円	14,200円	21,800円

(4) 北海道立文学館及び北海道立釧路芸術館の特別展示の場合

区分	利用料金の上限額	
	個人	10人以上の団体
1 小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者	1,410円	1人に 1,220円 つき
2 高等学校の生徒、大学の学生及びこれらに準ずる者	2,320円	1人に 1,720円 つき
3 1及び2以外の者（学齢に達しない者を除く。）	3,520円	1人に 2,730円 つき

## ■ 平成 29 年度事業概要 ■

### I 文学資料の収集・整理・保存及び閲覧事業

購入資料受入れ総数（図書・雑誌及び特別資料等）	920 点
寄贈資料受入れ総数（同上）	3,285 点
	4,205 点
整理・保存	収蔵資料のコンピュータ入力並びに寄贈目録の作成等
閲覧	利用者 延 4,880 人

### II 展覧会事業

#### (1) 展覧会開催事業

事業名	実施時期 (日数)	観客数 (人)	展覧会の概要
常設展 北海道の文学	通年 (308 日間)	7,545	北海道の文学を時系列に従いつつジャンル別に構成し、解説している。ビジュアルな展示スタイルに主眼を置き、直筆原稿・遺品・初版本・書簡・写真などの貴重な資料 1,350 点を紹介。 (◎展示構成を次頁に掲載。)
特別展 ふみくらの奥をのぞけば —文学館・珠玉の 300 選	4/22(土) ～ 6/18(日) (50 日間)	2,322	「北海道文学館」が道内外の多くの人々に支えられて産声をあげたのが 1967 年。以来、北海道関連の文学資料を中心に収集を続けて 50 年を迎えた。経済活動優先の時流に抗して、風化・散逸を潔しとせず、文学館の「ふみくら」(文庫・収蔵庫)で保存に努めてきた〈宝物〉は 30 万点を超えている。本展では、その中から自筆原稿や色紙、貴重本など 300 点を選びすぎり、北の大地の文学の魅力にふれていただく。
特別展 「北方文芸」と道内文学 同人誌の光芒	7/ 1(土) ～ 8/27(日) (50 日間)	1,721	北の大地に芽生えた文学運動をより確かなものにするため誕生したのが雑誌「北方文芸」である。〈日本のなかの北海道・北海道のなかの日本を照射し表現する文学運動の拠点たらねばならぬ〉との熱い出発宣言のもと、1968 年 1 月創刊号から約 30 年間、350 号で休刊に至るまで意欲的な特集を編み、多くの才能ある書き手を送り出した。一方、総合誌化する同誌に対抗して、問題意識にあふれた同人誌も相次いで誕生し、道内文学は百花繚乱の活況を呈した。本展では北海道における文学運動の「青春」とでも言うべき「北方文芸」とその時代にスポットを当て紹介する。
特別展 《サハリン島》2017 —アントン・チェーホフの遺産	9/ 9(土) ～ 11/19(日) (62 日間)	2,848	ロシアの作家チェーホフは、1890 年単身サハリン島を訪れこの極東の流刑地の調査をもとに、歴史的〈遺産〉として世界中で読み継がれている『サハリン島』を書き上げた。本展では、チェーホフの『サハリン島』を中心に、サハリンに足跡を残した北原白秋や宮沢賢治らの日本語文学、ニプフなど先住民族の民俗文化、現代の若手芸術家の活動の紹介を通して、この地に息づくチェーホフ的精神の遺産について考える。
ファミリー文学館 絵本の動物園へようこそ	12/ 2(土) ～ 1/21(日) (39 日間)	2,157	中島公園に動物園が出現！、絵本の中のどうぶつたちが大集合と題し、ゾウやゴリラ、キリン、シロクマなどが描かれている絵本の動物園を開催。おはなしのなかのどうぶつたちと触れあってもらうとともに、親子で楽しめる絵本コーナーや簡単手作りコーナーを設置。
特別展 有島武郎と未完の『星座』	2/ 3(土) ～ 3/25(日) (44 日間)	1,763	「カインの末裔」「生れ出づる悩み」などで明治・大正の北海道に生きる人間を鮮明に描き出した作家・有島武郎(1878～1923 年)。狩太(現・ニセコ)での「農場解放」をはじめ、「遠友夜学校」、北大美術部「黒百合会」での活動など、その功績は文学だけに止まらない。本展ではその足跡を辿るとともに、自身の札幌農学校(現・北海道大学)時代をモデルにした未完の小説「星座」に焦点をあて、様々な個性を持つ若者たちが、自然とお互いを活かし、助け合う青春群像の描写に、有島が何を託したのかを読み取り、分断や衝突の問題に揺れる現代社会を考えるヒントを探る。

【文学館アーカイヴ（新着資料）コーナー】

- 第1期展示〔4月18日(火)～6月11日(日)〕  
戦後北海道の出版文化（前期）  
北海道出版ブーム期（1945～49年）に北海道で刊行された書物を紹介。
- 第2期展示〔6月27日(火)～8月13日(日)〕  
戦後北海道の出版文化（後期）  
北海道出版ブーム期に刊行された書物の中から子ども向けのものを紹介。
- 第3期展示〔8月29日(火)～11月12日(日)〕  
文学ノーザンアイランドの旅  
特別展に因み樺太・千島など北方の島々を描いた文学作品を紹介。
- 第4期展示〔11月21日(火)～1月14日(日)〕  
2017年の主な受賞とトピックス  
北海道ゆかりの受賞者たちと受賞した作品を紹介。
- 第5期展示〔1月30日(火)～3月18日(日)〕  
大正ロマンのイメージ  
大正期の芸術のロマン主義的な特質を文学作品や装丁などにより紹介。

(2) 常設展の展示構成

〈北海道の文学、その歴史〉〔神谷忠孝・平原一良〕

◆20世紀への胎動 久保栄「五稜郭血書全5幕」自筆原稿、北方謙三「林蔵の貌」自筆原稿、高倉新一郎「札幌農学校」 ◆助走期の苦闘 有島武郎・木田金次郎宛書簡、武者小路実篤「武郎さんと僕」自筆原稿、雑誌「白樺」 ◆漂泊と彷徨 国木田独歩「欺かざるの記」複製原稿、幸田露伴「二日物語 此一日」複製原稿、石川啄木「雲は天才である」複製原稿 ◆道産子作家の誕生 武林無想庵「アルバム」自筆原稿、森田たま「きもの博士」自筆原稿、中戸川吉二・久米艶子宛書簡 ◆逆流のさなかで 小林多喜二「故里の顔」複製原稿、久保栄「火山灰地」自筆原稿、本庄陸男「逆流」自筆原稿 ◆モダニズムの台頭 伊藤整「文化的青春伝」自筆原稿、中村武羅夫自筆色紙、岡田三郎「かぼちゃ談義」自筆原稿 ◆戦火の中で 辻村もと子「馬追原野」自筆原稿、石塚喜久三「花の海」自筆原稿、坂本直行自筆カット原画 ◆復興と再生 畔柳二美「こぶしの花の咲くころ」自筆原稿、風巻景次郎「札幌地理学」複製原稿、船山馨遺品 ◆成長期の精華 雑誌「北海道文学」（原田康子「挽歌」掲載）、和田芳恵「五十年ぶりの帰郷」自筆原稿、李恢成自筆色紙、三浦綾子短冊（三浦光世筆） ◆変転する現代 高橋揆一郎「『伸予』覚え書き」自筆原稿、吉村昭「赤い人」自筆原稿、渡辺淳一「リラ冷えの街」自筆原稿

〈北海道の詩〉〔原子修〕

◆「現代の詩」の創造に挑んだ〈風の詩人〉たち 吉田一穂「魚歌」自筆扁額、小熊秀雄画「裸婦」 ◆「現代の詩」を北の大地に根づかせた〈土の詩人〉たち 更科源蔵「河童十二ヶ月」複製原稿、和田徹三「命」自筆原稿、河邨文一郎「オホーツク」自筆原稿 ◆「現代の詩」の新しい可能性を求めて 原子修自筆色紙

〈北海道の短歌〉〔内田弘〕

◆北海道歌壇の動き 小田観螢、並木凡平、酒井廣治、山下秀之助、伊東音次郎 ◆北海道歌人会 その主な活動 ◆歌人達の揮毫 野原水嶺、芥子澤新之介、小田観螢、宮西頼母、川村濤人、樋口賢治 ◆北海道を詠む 石川啄木、太田水穂、若山牧水、土屋文明、与謝野寛、与謝野晶子、斎藤茂吉、佐藤佐太郎、橋本徳寿、宮柊二、太田青丘、齋藤史、清原日出夫

〈北海道の俳句〉〔木村敏男〕

◆北方俳句の夜明け 松窓乙二、河東碧梧桐、牛島勝六、高浜虚子、長谷川零餘子、臼田亜浪、石田雨圃子、青木郭公ほか ◆俳句近代化への潮流 荻原井泉水、泉天郎、長谷部虎杖子、唐笠何蝶、細谷源二、土岐鍊太郎、伊藤凍魚、水野波陣洞ほか ◆花ひらく北の俳句 齋藤玄、寺田京子、比良暮雪ほか ◆俳句の現代 鮫島交魚子、園田夢蒼花、山岸巨狼ほか

〈アイヌの口承文芸〉〔青柳文吉〕

金田一京助、知里真志保、久保寺逸彦、金成マツ、知里幸恵、萱野茂

〈北海道の川柳〉〔斎藤大雄〕

◆明治～昭和初期 鈴木青柳、北村白眼子、亀井花童子、神尾三休、三輪破魔杖、井上剣花坊、鶴彬、西嶋〇丸、田中五呂八ほか ◆昭和後期～平成7年 西村欣童、高木夢二郎、森田一二、甲野狂水、古田八白子 ◆北海道の川柳社 道央、道南、道東、道北の各結社の活動と結社誌等を紹介

〈北海道の児童文学〉〔柴村紀代〕

◆明治～昭和20年代 伊東音次郎、支部沈黙、坪松一郎ほか ◆昭和30年代 石森延男、神沢利子、安藤美紀夫、渡辺ひろし、玉川雄介ほか ◆昭和40年代以降 加藤多一、後藤竜二、長野京子ほか

〈千島・樺太の文学〉〔木原直彦〕

夏堀正元、吉村昭、李恢成、寒川光太郎ほか

### III 教育普及事業

注：「事業項目」の無印は道負担事業。※印は財団企画事業。

事業項目	事業名	実施時期(日数)	目標観覧(参加)者実績数(人)	観覧(参加)者実績数(人)	観覧(参加)率(%)	備考
講演会・セミナー・講話等	オープニングセレモニー	4/22(土)		18		「ふみくら展」関連事業
〃	記念講演会「北海道文学の発音とともに」 講師：木原直彦（北海道文学館名誉館長）	4/22(土)	80	64	80.0%	〃
〃	ギャラリーツアー 講師：当館学芸員	5/6(土)、5/20(土)、 6/3(土)、6/17(土)		22		〃
〃	文芸ライブ「レクイエム J. K-65年後の『阿寒に果つ』」 講師：暮尾淳（詩人）、荒巻義雄（SF作家）	5/6(土)		103		〃
〃	対談「札幌で書く小説とノンフィクション」2人の気鋭作家が語る 講師：乾ルカ（作家）、谷口雅春（ライター）	5/21(日)		71		〃
〃	朗読と音楽の会 講師：朗読ユニット華音	6/4(日)		92		〃
〃	ワークショップ「アンティーク風の豆本づくり」 講師：関川敦子（版画家・豆本作家）	6/3(土)		10		〃
〃	ワークショップ「文庫本ノートのハードカバー手製本をつくる」 講師：田原洋朗（田原書店店主・手製本作家）	6/18(日)		10		〃
〃	文芸講演会「『北方文芸』とは何であったか」 講師：鶴田小彌太（元「北方文芸」編集人、元札幌大学教授）	7/2(日)	80	54	67.5%	「北方文芸展」関連事業
〃	ギャラリーツアー 講師：当館学芸員	7/2(日)、7/16(日)、 7/30(日)、8/13(日)、 8/27(日)		16		〃
〃	ビブリオバトル「書評合戦ゲーム！～北で生まれた名作たち」 協力：さっぽろビブル	7/23(日)、8/6(日)		54		〃
〃	記念講演会「『出刃』受賞のころ一文芸誌・同人誌と北海道の作家たち」 講師：小樽山博（小説家）	8/11(金)	80	96	120.0%	〃
〃	中島公園 2017 同人誌まつり LIVE EVENT 「蘇る青春ソング～岡林、陽水、拓郎を唄おう」 出演：も～り～	7/7(金)		20		〃
〃	中島公園 2017 同人誌まつり 朗読会 「中島公園を描く作品を読む」 出演：声の贈り物～月夜見の会	7/7(金)		38		〃

事業項目	事業名	実施時期(日数)	目標観覧(参加)数(人)	観覧(参加)者実績数(人)	観覧(参加)率(%)	備考
講演会・セミナー・講話等	中島公園 2017 同人誌まつり 「公園の達人と巡る中島公園 33 の宝物」 講師：笠康三郎	7/ 7(金)		13		「北方文芸展」 関連事業
〃	中島公園 2017 同人誌まつり 「ワークショップ うちわを作ろう！」 講師：当館職員	7/ 8(土)		12		〃
〃	中島公園 2017 同人誌まつり 「親子で楽しむ読み聞かせ」 朗読：読み聞かせボランティア「トムテ」	7/ 8(土)		1		〃
〃	中島公園 2017 同人誌まつり 「クイズに挑戦！中島公園文学散歩」 講師：当館学芸員	7/ 8(土)		4		〃
〃	中島公園 2017 同人誌まつり LIVE EVENT 「ピアノとアコーディオンで奏でる青春の光芒」 出演：WHOOPS	7/ 9(日)		28		〃
〃	中島公園 2017 同人誌まつり TALK EVENT 「同人誌の現在、書くことの未来」 出演：田中和夫、妹尾雄太郎、寺田文恵、河崎秋子	7/ 9(日)		38		〃
〃	オープニングセレモニー	9/ 9(土)		40		「サハリン島展」 関連事業
〃	オープニング・ギャラリートーク 講師：当館学芸員	9/ 9(土)		50		〃
〃	ギャラリートーク 講師：当館学芸員	10/21(土)、10/29(日)、 11/4(土)		25		〃
〃	文芸講演会 I 「サハリンという場所—チェーホフの 見たもの、そして現在」 講師：外岡秀俊(ジャーナリスト、作家)	9/ 9(土)	80	73	91.3%	〃
〃	朗読と演奏「海をわたる弦の響き～音楽と朗読で結 ぶサハリンと北海道～」 朗読：工藤正廣、演奏：デュオ・セント+1	9/28(木)		62		〃
〃	文芸講演会 II 「『シベリアから』と『サハリン島』を 筆写して」 講師：工藤正廣(当財団理事長)	10/ 1(日)	60	51	85.0%	〃
〃	トークセッション I 「チェーホフのサハリン島をめ ぐる」 講師：E. フィルソヴァ(サハリン島文学記念館館長)、 A. ステパネンコ(同啓蒙部門主幹)	10/ 8(日)	80	109	136.3%	〃
〃	トークセッション II 「文学を生み出す場としてのサ ハリン」 講師：E. イコンニコヴァ(サハリン国立大学教授)、 E. バチニナ(郷土文学研究家)、窪田尚(詩人、 絵本作家)、斉藤征義(詩人)、蜂飼耳(詩人)	10/ 9(月)	80	103	128.8%	〃
〃	トークセッション III 「チェーホフの『サハリン島』 をめぐる話」 講師：沼野充義(東京大学大学院教授)、 池澤夏樹(作家、当館館長)	10/22(日)		111		〃
〃	異文化セミナー「サハリンのくらしと北海道」 講師：中谷アナスタシア(元通訳者)	10/28(土)		31		〃
〃	トークセッション IV 「[サハリン×北海道] 現代絵画 について語り合う」 講師：L. アサビナ(美術家)、谷地元麗子(日本画家)	11/ 5(日)		31		〃
〃	「魅惑のマンドリン&ギターのしらべ～懐かしいロ シアの歌から」 演奏：トロア・クプルス、佐藤洋一	11/12(日)		86		〃
〃	「大人のためのサハリン昔語り」 出演：札幌おはなしの会	11/12(日)		36		〃
〃	文芸講演会 III 「サハリン発、チェーホフさんこんに ちは」 講師：児島宏子(ロシア語通訳、翻訳家)	11/15(水)		45		〃
〃	講演会「あべさんに教えてもらおう、動物のこと」 講師：あべ弘士(絵本作家)、 演奏：明楽みゆき(ピアニスト)	1/14(日)		89		ファミリー文学 館関連事業
〃	ワークショップ「どうぶつずろくをつくろう」 講師：当館職員	12/17(日)		25		〃
〃	ワークショップ「バタバタアニマルをつくろう」 講師：堀川真(絵本作家)	1/11(木)		29		〃
〃	どうぶつ絵本読み聞かせ 出演：当館職員	12/24(日)、1/21(日)		17		〃
〃	オープニングセレモニー・オープニングギャラリー トーク	2/ 3(土)		40		「有島展」 関連事業
〃	オープニング文芸講演会「有島武郎と出版—新潮社 からの新発見資料・原稿『星座』にふれて」 講師：中島国彦(日本近代文学館専務理事)	2/ 3(土)	80	61	76.3%	〃

事業項目	事業名	実施時期(日数)	目標観覧(参加)者数(人)	観覧(参加)者実績数(人)	観覧(参加)率(%)	備考
講演会・セミナー・講話等	朗読会「高校生が読む有島武郎の名作」 朗読：札幌旭丘・札幌静修・札幌日本大学高等学校放送局	2/4(日)、3/17(土)		90		「有島展」関連事業
〃	読書会「有島武郎を読む」 講師：工藤正廣(当財団理事長)、久保田知恵子(藤女子大学非常勤講師)、当館学芸員	2/6(火)、3/6(火)、3/14(水)		45		〃
〃	講座「有島武郎を知る」 講師：中澤千磨夫(北海道武蔵女子短期大学教授)、柴橋伴夫(詩人、美術評論家)、岡部卓(木田金次郎美術館学芸員)、当館副館長	2/9(金)、2/27(火)、3/13(火)、3/20(火)		138		〃
〃	文芸講演会「〈学問〉する青年と女性たち—有島武郎『星座』精読—」 講師：中村三春(北海道大学大学院教授)	2/10(土)		46		〃
〃	森雅之ミニ映画祭	2/16(金)、3/2(金)、3/9(金)		80		〃
〃	対談「有島武郎と北大恵迪寮」 講師：神谷忠孝(当財団顧問、北海道大学名誉教授)、藤田正一(北海道大学名誉教授)	2/18(日)		55		〃
〃	有島武郎でビブリオバトル 協力：札幌ビブル	2/25(日)		20		〃
〃	私劇「カインの末裔に寄す」 出演：柴田智之(身体表現)	3/ 4(日)		85		〃
〃	北海道開拓の村・有島ゆかりのスポットをめぐるミニツアー 講師：前川公美夫(当財団理事)	3/11(日)		19		〃
〃	対論「北海道文学の可能性」 講師：岡和田晃(文芸評論家)、川村湊(文芸評論家)	1/13(土)		45		
夏休み文学道場	「中・高生のための創作講座」	7/26(水)～7/28(金)	30	11	36.7%	
小・中・高生短歌コンテスト	小・中・高生を対象に作品を募集し、優秀作品を表彰するとともに、当館ロビーに作品展示	募集 7/1(土)～9/10(日) 展示 12/2(土)～1/21(日)	3,300	4,775	144.7%	
〃	小・中・高生短歌コンテスト表彰式	12/ 2(土)		59		
ファミリー文学館	親子手作りコーナー「ゆらゆらアニマルをつくろう！」	12/2(土)～1/21(日)	2,000	598	29.9%	
映画鑑賞会	「潮騒」	5/28(日)	60	63	105.0%	
映画鑑賞会	「北国の街」	7/16(日)	60	53	88.3%	
映画鑑賞会	「丹下左膳 百万両の壺」	11/26(日)	60	27	45.0%	
映画鑑賞会	「白痴」	2/11(日)	60	67	111.7%	
市町村連携事業「文学館出前講座」	市町村、学校、文化団体等との共催で講演会等を開催	17 市町村 20 会場	1,200	1,768	147.3%	
市町村連携事業「ミニ巡回展」	市町村、学校、文化団体等との共催で講演会等を開催	2 市町村 2 会場	1,000	2,167	216.7%	
文字・活字文化の振興事業	「北海道文学館公開歌会・句会」 出演：〈パネリスト〉内田弘、田湯岬、岡崎守、〈実作者〉短歌、俳句、川柳各2名	10/29(日)	60	79	131.7%	
古典の日記念朗読会	朗読：安藤千鶴子(音声表現講師、元HBCアナウンサー)、保坂和加枝(朗読ボランティア)	11/ 3(金)	60	79	131.7%	
月例朗読会	朗読：ドラマチックリーディンググループさ・く・らほか5団体	年10回	600	603	100.5%	
わくわくこどもランド	紙芝居、読み聞かせ、工作教室などに親子で参加	15回開催	700	532	76.0%	
ロビーコンサート	「日本の伝統音楽の夕べ」、「歌と古楽器によるバロック名曲の夕べ」	11/6(月)、11/7(火)	120	113	94.2%	
文化施設連携事業	「カルチャーナイト2017」 展示室の夜間開館等を実施	7/21(金)	300	219	73.0%	
文学資料の利用	閲覧室での研究、調査、読書等	通年(308日間)		4,880		
文学愛好団体の活動	文学愛好団体が講堂利用(貸館)	通年(308日間)		1,213		
負担金事業計			10,230	19,807	193.6%	
※ 講演会・セミナー・講話等	池澤夏樹連続講演(第15回)	5/12(金)		91		
※ 講演会・セミナー・講話等	日仏交流の夕べ「オリエンタルピアノ LE PIANO ORIENTAL」を語る 講師：ゼイナ・アピラシエド、池澤夏樹	11/ 1(水)		81		
※ 文学館カレッジ	サハリン島、吉村昭・津村節子、児童文学、生涯読書会、川柳講座の5講座	5～3月	600	457	76.2%	
※ 文学館まつり	講演会、朗読会、親子手作りコーナー、秋のミニ色紙づくりなど	9/23(土)	300	356	118.7%	
※ 文化公演の活動	コンサート、朗読会の会場に利用	閉館後の夜間	600	749	124.8%	
※ 小学生向け事業	「文学館たんけんクイズ」	通年(308日間)	100	91	91.0%	
自主企画事業計			1,600	1,825	114.1%	
教育普及事業参加者 計			11,830	21,632	182.9%	

#### IV 北海道文学に関する調査研究事業

- ① 特別展「ふみくらの奥をのぞけば—文学館・珠玉の300選」関連資料調査
- ② 特別展「『北方文芸』と道内同人誌の光芒」関連資料調査
- ③ 特別展「『サハリン島』2017—アントン・チェーホフの遺産」関連資料調査
- ④ ファミリー文館「絵本の動物園へようこそ」関連資料調査
- ⑤ 特別展「有島武郎と未完の『星座』」関連資料調査
- ⑥ 特別展の図録作成に要する調査
- ⑦ 次年度の特別展「没後50年 子母澤寛 無頼三代 蝦夷の夢」関連資料調査
- ⑧ 次年度の特別展「戦没画学生慰霊美術館「無言館」展」関連資料調査
- ⑨ 次年度の特別展「極の誘ひ 詩人吉田一穂展—あゝ麗しの距離、」関連資料調査
- ⑩ 次年度のファミリー文学館関連資料調査
- ⑪ 次年度の特別展「北海道の俳句～どこから来て、どこへ行くのか～」関連資料調査

#### V 文学愛好団体等の活動に対する支援事業

次の団体の事業に対して、後援並びに共催により支援した。

- ① 中川町教育委員会  
斎藤茂吉記念第24回中川町短歌フェスティバル  
(平成29年6月1日～10月31日 中川町)
- ② 6弦6人3様～ギターディオ・ジョイントコンサート実行委員会  
6弦6人3様～ギターディオ・ジョイントコンサート  
(平成29年6月24日 北海道立文学館地階ロビー)
- ③ ムジカ・アンティカ・サッポロ  
古楽への誘い vol.9～バロック・トランペットの世界～  
(平成29年6月25日 北海道立文学館地階ロビー)
- ④ 新緑のバロック実行委員会  
新緑のバロック  
(平成29年6月28日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑤ ふるさとを歌う会 in 札幌 森の時間  
森の時間 JAPAN×竹あかり  
(平成29年7月30日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑥ ホセ・アントニオ・エスコバルギターリサイタル実行委員会  
ホセ・アントニオ・エスコバルギターリサイタル  
(平成29年8月24日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑦ ギタージョイントコンサート実行委員会  
角圭司・山本朝香・亀岡三典ギタージョイントコンサート  
(平成29年8月26日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑧ ふるさとを歌う会 in 札幌 森の時間  
森の時間 JAPAN×竹あかり  
(平成29年9月2日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑨ NHK文化センター朗読教室 松井信子クラス  
第19回「北海道ゆかりの文学を読む」朗読会  
(平成29年10月15日 北海道立文学館講堂)
- ⑩ ロメウス弦楽四重奏団  
第4回ロメウス弦楽四重奏団コンサート  
(平成29年10月20日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑪ 山口流梅桃桜会札幌  
山口千壽篠笛演奏会 Vol.9

- (平成 29 年 10 月 28 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑫ 一般社団法人北海道美術館協力会  
北海道美術館協力会設立 40 周年記念講演会  
(平成 29 年 11 月 3 日 北海道立近代美術館)
- ⑬ 札幌大学熊谷ユリヤ研究室  
カズオ イシグロの世界 朗読とハーブ  
(平成 29 年 12 月 5 日 札幌時計台ホール)
- ⑭ 宮下祥子ギター教室  
SAPPORO WING CONCERT Vol.2  
(平成 29 年 11 月 4 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑮ ダヴィデ・ジョヴァンニ・トシマギターリサイタル実行委員会  
ダヴィデ・ジョヴァンニ・トシマギターリサイタル  
(平成 29 年 11 月 23 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑯ ふらっとお楽しみこんさーと実行委員会  
ふらっとお楽しみこんさーと  
(平成 29 年 12 月 9 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑰ ジュディカエル・ペロワ ギターリサイタル実行委員会  
ジュディカエル・ペロワ ギターリサイタル  
(平成 30 年 2 月 22 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑱ ふるさとを歌う会 in 札幌 森の時間  
震災復興チャリティーイベント「森の時間 SNOW HOKKAIDO TAKEAKARI」  
(平成 30 年 3 月 11 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑲ 札幌大学熊谷ユリヤ研究室  
東日本大震災 7 周年朗読とハーブ カズオイシグロ「記憶」の世界  
(平成 30 年 3 月 11 日 エルプラザ札幌市男女協働参画センター)
- ⑳ ぼえむ・ライブ北の息吹実行委員会  
第 1 回ぼえむ・ライブ in 豊平館  
(平成 30 年 4 月 28 日 札幌市豊平館)

## VI 啓発広報事業

- ① 事業案内、各展覧会ポスター・チラシ及び講演会・セミナーチラシ等を制作・発行し、道内外の文学館、道内の博物館や図書館、札幌市内の地区センター、区民センター、カルチャーセンター、主要ホテル、観光案内所等に配布した。又、地下鉄各駅構内にポスターの掲示を行った。更に、展覧会の開催を PR するため、TV 及び新聞紙上で有料広告を行った。
- ② 「北海道文学館報」第 109 号（5 月 31 日付）、第 110 号（8 月 10 日付）、第 111 号（10 月 20 日付）、第 112 号（3 月 14 日付）を発行した。

## VII 刊行物の刊行事業

- ① 特別展「ふみくらの奥をのぞけば—文学館・珠玉の 300 選」図録の刊行
- ② 特別展「『北方文芸』と道内同人誌の光芒」図録の刊行
- ③ 特別展「『サハリン島』2017—アントン・チェーホフの遺産」図録の発行
- ④ 特別展「有島武郎と未完の『星座』」図録の刊行
- ⑤ 「平成 28 年度年報」の刊行

## VIII その他の付帯事業

- ① 博物館実習生の受入  
博物館実習生—13 名（受入期間 7 月～1 月。実習期間 2 週間）

## ■ 統計・資料 ■

### I 平成 29 年度 展覧会別観覧状況

単位：名

区 分	常設展		特 別 展				計		
	北海道の文学	ふみくら展	北方文芸展	サハリン島展	ファミリー文学館	有島武郎展			
開催日数	308	50	50	62	39	44			
有 料	個 人	一 般	573	250	139	799	285	2,046	
		高大生	75	18	8	722	438	1,261	
		小中生				9		13	22
		小 計	648	268	147	1,530	0	736	3,329
	団 体	一般	537	119	148	179		159	1,142
		高大生	165	41	26	43		65	340
		小中生							0
	小 計	702	160	174	222	0	224	1,482	
免除・招待	6,195	1,894	1,400	1,096	2,157	803	13,545		
観覧者総数	7,545	2,322	1,721	2,848	2,157	1,763	18,356		

### II 平成 29 年度 事業別利用状況

単位：名

区分		月別												計	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
負 担 金 事 業	展 覧 会 事 業	常設展	536	737	637	821	741	683	778	602	396	521	474	619	7,545
		ふみくら展	366	1,195	761										2,322
		北方文芸展				903	818								1,721
		サハリン島展						807	1,194	847					2,848
		ファミリー文学館									945	1,212			2,157
		有島武郎展											770	993	1,763
		小 計	902	1,932	1,398	1,724	1,559	1,490	1,972	1,449	1,341	1,733	1,244	1,612	18,356
	教 育 普 及 事 業	講演会・セミナー・講話等	82	181	127	244	130	225	422	206	32	173	360	319	2,501
		文学道場				11									11
		小中高生短歌コンテスト						4,775			59				4,834
		ファミリー文学館								273	325				598
		映画鑑賞会（4回）		63		53				27			67		210
		地域連携事業 「文学館出前講座」		55	51	604	38	470	48	502					1,768
		地域連携事業 「ミニ巡回展」		1,200							967				2,167
		文字活字文化振興事業							79						79
		朗読会（古典の日）								79					79
		月例朗読会		61	59	47	53	73	63	38	74		70	65	603
		わくわくこどもランド		134	12	57	53	26	28	40	108	30	18	26	532
		ロビーコンサート									113				113
		カルチャーナイト 2017				219									219
		小 計	82	1,694	249	1,235	274	5,569	640	1,005	1,513	528	515	410	13,714
愛好団体の文学活動	30	82	133	50	73	178	274	132	18	120	20	103	1,213		
資料閲覧・共同研究	409	457	393	468	459	437	504	369	287	375	321	401	4,880		
	計	521	2,233	775	1,753	806	6,184	1,418	1,506	1,818	1,023	856	914	19,807	
	負担金事業計	1,423	4,165	2,173	3,477	2,365	7,674	3,390	2,955	3,159	2,756	2,100	2,526	38,163	
自 主 企 画 事 業	講演会・セミナー・講話等		91							81				172	
	文学館カレッジ		26	55	59	59	59	59	50	30	30	30		457	
	文学館まつり（9/23）						356							356	
	文学館探検クイズ	8	6	1	2	6	2	1	4	3	46		12	91	
	公演（コンサート、朗読会）			180	22	157	14	127	101	13		81	54	749	
		自主企画事業計	8	123	236	83	222	431	187	236	46	76	111	66	1,825
	ボランティア活動状況		3	12	11	7	18	49	4	8		27	9	148	
その他（喫茶コーナー）	137	239	162	165	170	184	253	192	59	106	143	153	1,963		
	合 計	1,568	4,530	2,583	3,736	2,764	8,307	3,879	3,272	2,938	2,381	2,754	42,099		

### Ⅲ 平成 29 年度 資料収集状況

収集状況

単位：点

区 分	購 入	寄 贈	合 計
図 書 資 料	422	558	980
雑 誌 資 料	490	2,710	3,200
視 聴 覚 ・ 電 磁 資 料	0	0	0
特 別 資 料	8	17	25
計	920	3,285	4,205

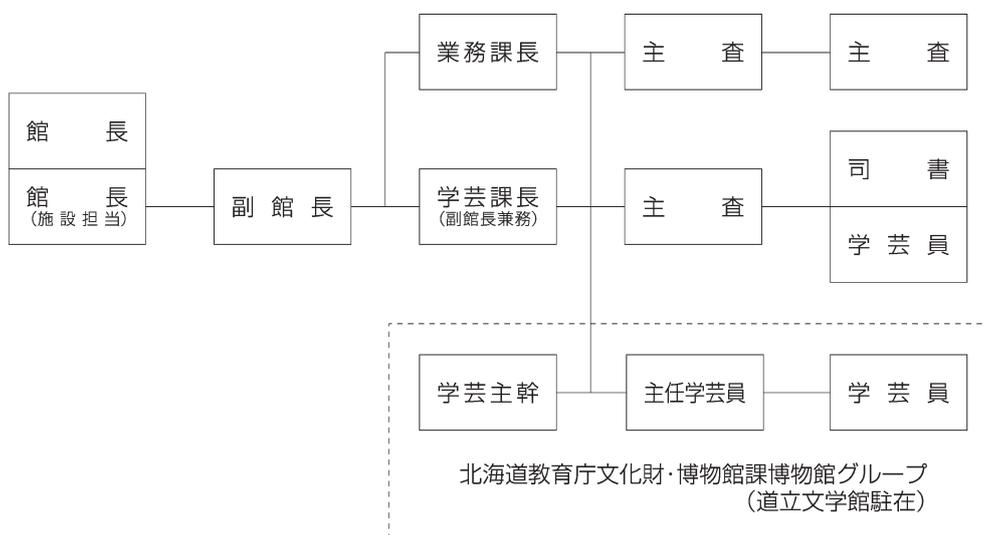
〈主な収集特別資料一覧〉

宇野鴻一郎自筆原稿「わが神話伝承の街道」(400字詰 15枚)	1点購入
子母澤寛自筆原稿「木曾の花道(部分)」(400字詰 24枚)	1点購入
山田風太郎自筆原稿「絶品「味覚極楽」」(400字詰 5枚)	1点購入
伊東音次郎書簡(和田夜詩緒宛て)	1点購入

(財団法人北海道文学館への寄贈	
津村節子私製葉書(工藤正廣宛て(1通))	1点受贈
亀井勝一郎自筆原稿「文庫本と読書」(400字詰 3枚)	1点受贈
羽生輝画「釧路新聞連載小説 原田康子「挽歌」原画」	1点受贈

## ■ 組織及び職員 ■

### I 組織機構図



### II 職員

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

職名	氏名	職名	氏名		
館長	池澤夏樹	学芸課 司書	三井沙紀		
館長 (財団副理事長)	酒向憲司	学芸課 学芸員	欠員		
副館長 (財団専務理事)	谷口孝男	北海道教育庁文化財・博物館課 博物館グループ (道立文学館駐在)			
業務課長 (財団常務理事)	高塚信之				
業務課 主査	丹羽則孝			学芸主幹	平利弘
業務課 主査	佐々木孝夫			主任学芸員	苦名直子
学芸課 主査	丹伊田範子			学芸員	吉成香織

## ■ その他 ■

### I 文学館の歩み

年次	事 項	年次	事 項
昭和42	北海道文学館設立総会、館報1号発行、有島武郎文学展	平成元	胆振文学展・目で見る風土と文学、俳句誌「葦牙」創刊700号記念展、北海道女流作家第一号森田たま展、北海道川柳展、作家生活25年記念三浦綾子展(札幌、旭川)
43	文学に見る北方風物展	2	児童文学「新十津川物語」展(札幌、新十津川)、移動展・石川啄木と野口雨情展、文化情報誌「ニュースきょうどう・カムイミンタラ」展、歌誌「新壑」創刊60周年記念展、北のロマンを奏でる——渡辺淳一文学展、市町村文芸誌展——道東・道北編
44	北海道旅の文学展	3	市町村文芸誌展——道央・道南編、移動展・石森延男と室蘭の児童文学展、文学展・北海道花の歳時記、来道60年記念斎藤茂吉展、文芸誌「赤煉瓦」とその周辺展
45	伊藤整・亀井勝一郎文学展	4	設立25周年記念・有島武郎と木田金次郎展、北電文化誌「フロンティア」著名作家原稿展、文学展・北海道花の歳時記(室蘭)、北の文学風物誌展(冬の巻)、らいらっく文学賞展
46	北海道詩歌展	5	俳句誌「アカシヤ」500号記念展、札幌文学散歩展、没後25年・道立文学館着工記念伊藤整文学展、北海道詩人協会40周年記念展
47	目で見る札幌文学散歩	6	文学・北の歳時記展、文学展・札幌線沿線の旅、北の山と文学展
48	藤村における旅資料展、久保栄文学展、札幌の文学・百年展		<b>〔北海道立文学館〕</b>
49	文学にみる札幌風物展、北海道女流文学展、小田観螢・人と作品展	7	北海道立文学館管理運営業務開始(財団法人北海道文学館受託) 北海道立文学館開館記念特別展・北の夜明け、所蔵品展・私の愛した抒情詩人たち(澤田誠一理事長就任)
50	札幌の作家展(戦前の巻)、戦後30年・北海道文学展、札幌の作家展(戦後の巻)、川柳に見る戦後の札幌展	8	特別企画展・北海道の俳句、特別企画展・久保栄と北海道、所蔵品展・船山馨の文学世界
51	碑にみる北の文学展、林不忘・長谷川四郎兄弟展、石狩川流域文学展、歌人・山下秀之助展	9	特別企画展・森田たまと素木しづ、特別企画展・青春と文学、所蔵品展・書簡に探る作家の素顔
52	札幌の文学サークル展、文学展・北の海、札幌・戦後演劇展	10	特別企画展・北海道の短歌、特別企画展・有島武郎とヨーロッパ、企画展・吉田一穂とその時代
53	文学展・ふるさとの窓、北海道児童文学展、さっぽろの俳句展	11	特別企画展・夏目漱石と芥川龍之介、特別企画展・〈本〉はどこに向かうのか、所蔵品展・本庄陸男と『石狩川』
54	札幌市資料館に館看板掲示、現代北海道短歌展、風土のなかの文学碑展、『北海道文学地図』発行	12	特別企画展・挿絵と装幀の小宇宙、特別企画展・「北緯五十度」の詩人たち、企画展・花咲く北の川柳展
55	現代北海道俳句展、北海道岬文学展、児童文学と絵日記展——石森延男・その周辺——	13	特別企画展・夢の世界のおくりもの〜アンデルセン童話・絵本原画展〜、特別企画展・100年目の小熊秀雄〜20世紀詩のアヴァンギャルド〜、企画展・映画ポスターに見る北海道の文学
56	雑誌「北方文芸」展、石森延男児童文学展、館所蔵文芸雑誌閲覧開始、北海道岬・文学展、高橋留治氏から3000余冊の詩書等寄贈、北海道文学全集展	14	特別企画展・寺山修司展〜テラヤマ・ワー
57	島木健作文学展、船山馨文学展、北海道・湖文学展、鮫島交魚子・加藤愛夫文学展		
58	寺田京子・宮田益子・森みつ三人展、文学展・大地と人間、にんげん坂本直行展——その絵と文学——		
59	北海道児童文学全集展、北海道演劇資料展		
60	北海道文学展示室が常設展に移行、北海道俳句展、北原白秋展、文学に見る北方風物展、『北海道文学大事典』発行、地域文化功労者賞受賞		
61	日本の文学館風景展、歌誌「原始林」40周年記念展、「石川啄木と野口雨情」文学風物展、石森延男と札幌の児童文学展、詩誌「核」30周年記念展、(和田謹吾理事長就任)		
62	『北海道文学百景』『北海道文学絵はがき』発行、北海道文学館歩み展、北海道文学館20周年記念祝賀会および記念展、俳句誌「氷原帯」創刊40周年記念展		
63	北海道歌人会創立35周年記念展、北海道新聞文学賞展、『北海道文学読本』発行、没後30年久保栄文学展、近代日本の文豪——森鷗外展、財団法人北海道文学館設立		

年次	事項	年次	事項
	ルドーきらめく闇の宇宙～、特別企画展・大自然に抱擁されて～知里幸恵『アイヌ神謡集』の世界へ～、企画展・中沢茂“ひとりの賑やかさ”～根室と霧と芸術家たち～(神谷忠孝理事長就任)		別展・吉村昭と北海道～歴史を旅する作家のまなざし
15	特別企画展・生誕100年記念 林芙美子展	23	特別展・追悼・後藤竜二展～子どもたちへの応援歌～高田三郎・小泉るみ子兄妹展、特別展・日は過ぎ去って僕のみは～福永武彦、魂の旅～、ファミリー文学館・絵本の原画を運ぼう！～現代版北前船の旅 あべ弘士「かちかち山」、特別展・赤色エレジーから小梅の初恋～林静一展、常設展プレミアム・森田たまの交友録——書簡にみる文学者たちの筆跡、特別展・李恢成の文学、(公益財団法人北海道文学館に名称変更)
16	特別企画展・函館—青森海峡浪漫～(北の20世紀)を紡いだ作家たち～、企画展・詩人百田宗治の戦後～北海道に残したもの～	24	常設展プレミアム・書物の美～明治・大正期の詩集～、特別展・いせひでこ・絵本の世界—私の木、心の木、ファミリー文学館 幻想文学館 文豪たちのこわ～い話、特別展・新美南吉生誕100年 ごんぎつねの世界、特別展・戦後北海道の演劇、特別展・高橋揆一郎の文学
17	特別企画展・写真家掛川源一郎の20世紀	25	常設展プレミアム・木版画家・佐藤国男による宮沢賢治ワールド、特別展・紙芝居の今昔、ファミリー文学館 絵本・カムイの物語、特別展・挿絵が僕らにくれたもの——ジブリが読み解く“通俗文化の源流”——、特別展・ほっかいどうの短歌100首、特別展・荒巻義雄の世界——都市型宇宙船ニュー・ユートピア・シティにむかって
18	特別企画展・更科源蔵生誕100年 北の原野の物語、企画展・アイヌ語地名を歩く——山田秀三の地名研究から——、企画展・仙花紙からの出発～雑誌に見る「戦後」の姿、企画展・北の風土の批評精神 発生と展開～風景景次郎から小笠原克へ～	26	北海道立文学館指定管理者(公益財団法人北海道文学館指定) 「氷点」50年 三浦綾子フォトメモリアル——後山一郎が撮り続けた約束の刻、特別展・FROM HAND TO HAND 手から手へ展、特別展・ムーミンの世界展～ヤンソンさんからの贈り物～、ファミリー文学館“うま”とあそぼう!!、特別展・小檜山博の文学——野性よ退化する現代を撃て——(工藤正廣理事長就任)
19	企画展・現代少女詩・童謡詩展、特別企画展・神沢利子の世界～北を想う・北を描く～、特別企画展・原田康子の北海道～小説「挽歌」から50年～、企画展・サハリン追跡～残留朝鮮人の軌跡、ファミリー文学館・春を待つ子どもたち～いわさきちひろ複製画展～	27	特別展・没後1年・渡辺淳一の世界——『白夜』の青春 リラ冷えを往く、特別展・挿絵の美・大衆文化の黄金時代——大正イマジユリイの世界——、特別展・没後50年 文豪・谷崎潤一郎——愛と美を求めて、ファミリー文学館 ネコ!ねこ!猫!!、特別展・「さとぼろ」発見 大正 昭和・札幌芸術雑誌にかけた夢
20	北海道立文学館指定管理者制度開始(財団法人北海道文学館指定) 特別企画展・石川啄木～貧苦と挫折を超えて～、特別企画展・池澤夏樹のトボス～旅する作家と世界の出会い～、企画展・人生を奏でる二組のデュオ～有島武郎と木田金次郎・里見淳と中戸川吉二～、企画展・写・文交響～写真家・綿引幸造の世界から～、企画展・〈デルス・ウザーラ〉絵物語展、企画展・書房の余滴～中山周三旧蔵資料から～	28	特別展・〈青春の記憶 夢みる力〉佐藤泰志の場所(トボス)、特別展・ミッフィーのたのしいお花畑～ディック・ブルーナが描くお花と絵本の世界展、特別展・2016年の宮沢賢治——科学と祈りのこころ、ファミリー文学館・「ワン!ニャン!どっちも大好き」、特別展・「手仕事の日本」と民藝の思想
21	特別企画展・太宰治の青春～津島修治であったころ～、特別企画展・目で識る川柳250年展・併設:北海道川柳の流れ、企画展・父・船山馨のDNA～船山滋生の彫刻と挿画～、企画展・遊んで学んだ、あの時代。新発見!100年前の児童雑誌、企画展・探求者の魂～山田昭夫の書齋から～	29	特別展・ふみくらの奥をのぞけば——文学館・珠玉の300選、特別展・「北方文芸」と道内文学同人誌の光芒、特別展・《サハリン島》2017——アントン・チェーホフの遺産、ファミリー文学館「絵本の動物園へようこそ」、特別展・有島武郎と未完の『星座』
22	特別企画展・詩の黄金の庭 吉増剛造展、企画展・馬たちがいた 加藤多一と北の風景、企画展・鳥のことば・人のことば 加藤幸子の見つめる世界、企画展・文学の鬼を志望す—八木義徳		
	常設展プレミアム・特集「フロンティア」——60～70年代の北海道、特別企画展・没後10年…三浦綾子/いのちへの愛、企画展・語り、継ぐ。——アイヌ口承文芸の世界、企画展・サハリンを読む——遙か[樺太]の記憶、企画展・藤倉英幸と旅のイメージ		
	北海道立文学館指定管理者(財団法人北海道文学館指定) 常設展プレミアム・日本人の遺書、常設展プレミアム・《川柳王国》北海道の軌跡、特別展・蘭繁之の手仕事～“美”にこだわった津軽の奇才、特別展・北斎漫画展～伝承版木が伝える江戸の出版文化、ファミリー文学館・開いてびっくり!しかけ絵本展、特		

## II 諸会議・運営日誌

平成 29 年

- 4月22日(土) 特別展「ふみくらの奥をのぞけば——文学館・珠玉の300選」オープン(～6月18日)
- 4月22日(土) オープン記念講演会「北海道文学館の発音とともに」(講師:木原直彦)
- 4月27日(木) ミニ巡回展「ワン!ニャン!どっちも大好き」(～5月31日、京極町)
- 5月5日(金) わくわくこどもランド(こどもの日スペシャル「人形劇」講師:人形劇団「ブランコ」)
- 5月5日(金) わくわくこどもランド(こどもの日手作りコーナー「こいのぼりをつくろう!」)
- 5月6日(土) ギャラリー・ツアー
- 5月6日(土) 文学ライブ「レクイエムJ・K—65年後の『阿寒に果つ』」(講師:暮尾淳、荒巻義雄)
- 5月11日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」
- 5月12日(金) 池澤夏樹連続講演(第15回)「平家物語」
- 5月20日(土) ギャラリー・ツアー
- 5月20日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会『芭蕉発句』を読み切る、講師:工藤正廣)
- 5月20日(土) 文学館カレッジ(愉快に川柳講座Ⅵ、講師:岡崎守)
- 5月21日(日) 対談「札幌で書く〈小説とノンフィクション〉」(講師:乾ルカ、谷口雅春)
- 5月25日(木) 監事監査(財団)
- 5月28日(日) 映画上映会「潮騒」
- 5月28日(日) 文学館出前講座「おとなの読書のすすめ」(木古内町、講師:中澤千磨夫)
- 6月1日(木) 文学館カレッジ(吉村昭・津村節子と北海道、講師:平原一良)
- 6月2日(金) 第1回理事会(財団)
- 6月3日(土) 文学館出前講座「朗読と音楽」(浜頓別町、講師:村井裕子、あらひろこ)
- 6月3日(土) ギャラリー・ツアー
- 6月3日(土) ワークショップ「アンティーク風の豆本づくり」(講師:関川敦子)
- 6月4日(日) 朗読と音楽の会(講師:音楽ユニット華音)
- 6月8日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」
- 6月10日(土) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせ 講師:ボランティア)
- 6月10日(土) 文学館カレッジ(チェーホフの《サハリン島》特別展覧会に寄せる、講師:荒巻義雄)
- 6月17日(土) 文学館出前講座「絵本パフォーマンス」(日高町、講師:岸田典大)
- 6月17日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会『芭蕉発句』を読み切る、講師:工藤正廣)
- 6月17日(土) ギャラリー・ツアー
- 6月17日(土) 文学館カレッジ(北海道の児童文学、講師:柴村紀代)
- 6月18日(日) ワークショップ「文庫本のハードカバー手製本を作る」(講師:田原洋朗)
- 6月23日(金) 定時評議員会(財団)
- 6月24日(土) 文学館カレッジ(愉快に川柳講座Ⅵ、講師:岡崎守)
- 6月24日(土) 公演「6弦6人3様～ギターデュオコンサート」
- 6月25日(日) 公演「古楽への誘い」
- 6月28日(水) 公演「新緑のバロック」
- 7月1日(土) 特別展「『北方文芸』と道内文学同人誌の光芒」オープン(～8月27日)
- 7月1日(土) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせ 講師:読み聞かせボランティア「にじいろ」)
- 7月1日(土) 文学館カレッジ(チェーホフの《サハリン島》特別展覧会に寄せる、講師:工藤正廣)
- 7月2日(日) ギャラリー・ツアー
- 7月2日(日) 文芸講演会「『北方文芸』とは何であったか」(講師:鷺田小彌太)
- 7月4日(火) 文学館出前講座「絵本パフォーマンス」(札幌市、講師:岸田典大)
- 7月6日(木) 文学館カレッジ(吉村昭・津村節子と北海道、講師:平原一良)
- 7月7日(金) 中島公園2017同人誌まつり LIVE EVENT「蘇る青春ソング～岡林、陽水、拓郎を唄おう」(出演:も～り～)、朗読会「中島公園を描く作品を読む」(出演:声の贈り物～月夜見の会)、「公園の達人と巡る中島公園33の宝物」(講師:笠康三郎)
- 7月8日(土) 中島公園2017同人誌まつり「ワークショップ うちわを作ろう!」、「親子で楽しむ読み聞かせ」(講師:読み聞かせボランティア「トムテ」)、「クイズに挑戦!中島公園文学散歩」
- 7月9日(日) 中島公園2017同人誌まつり LIVE EVENT「ピアノとアコーディオンで奏でる青春の光芒」(出演:WHOOPS)、TALK EVENT「同人誌の現在、書くことの未来」(出演:田中和夫、妹尾雄太郎、寺田文恵、河崎秋子)
- 7月13日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」

- 7月14日(金) 文学館出前講座「川柳入門」(旭川市、講師：岡崎守)
- 7月14日(金) 文学館出前講座「町民参加舞台創造」(斜里町、講師：森一生)
- 7月15日(土) 文学館出前講座「宮沢賢治の詩を読み解く」(釧路市、講師：斉藤征義)
- 7月15日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会『芭蕉発句』を読み切る、講師：工藤正廣)
- 7月15日(土) 文学館カレッジ(北海道の児童文学、講師：久保田知恵子)
- 7月16日(日) ギャラリー・ツアー
- 7月16日(日) 映画上映会「北国の街」
- 7月21日(金) カルチャーナイト2017(常設展・特別展夜間開館、古書バザール、朗読会など)
- 7月22日(土) (愉快に川柳講座Ⅵ、講師：岡崎 守)
- 7月23日(日) ビブリオバトル「書評合戦ゲーム!～北で生まれた名作たち」(協力：さっぽろビブル)
- 7月23日(日) 文学館出前講座「親子で楽しもう!絵本パフォーマンス」(上富良野町、講師：岸田典大)
- 7月26日(水) 夏休み文学道場「中・高生のための創作講座」(講師：小路幸也)(～28日)
- 7月30日(日) ギャラリー・ツアー
- 7月30日(日) わくわくこどもランド(手作り教室「サマーブックをつくろう!」)
- 7月30日(日) 公演「森の時間 JAPAN×竹あかり」
- 8月3日(木) 文学館カレッジ(吉村昭・津村節子と北海道、講師：平原一良)
- 8月5日(土) わくわくこどもランド(親子で楽しむ絵本とコンサート 講師：読み聞かせボランティア)
- 8月5日(土) 文学館カレッジ(チェーホフの《サハリン島》特別展覧会に寄せる、講師：瀬戸正昭)
- 8月6日(日) ビブリオバトル「書評合戦ゲーム!～北で生まれた名作たち」(協力：さっぽろビブル)
- 8月8日(火) わくわくこどもランド(手作り教室「紙芝居をつくろう!」)(～9日)
- 8月10日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」
- 8月11日(金) 記念講演会「『出刃』受賞のころ——文芸誌・同人誌と北海道の作家たち」(講師：小檜山博)
- 8月13日(日) ギャラリー・ツアー
- 8月19日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会『芭蕉発句』を読み切る、講師：工藤正廣)
- 8月19日(土) 文学館カレッジ(北海道の児童文学、講師：横田由紀子)
- 8月24日(木) 文学館出前講座「川柳入門」(愛別町、講師：岡崎守)
- 8月24日(木) 公演「ホセ・アントニオ・エスコバルギターリサイタル」
- 8月26日(土) 文学館カレッジ(愉快に川柳講座Ⅵ、講師：岡崎守)
- 8月26日(土) ギタージョイントコンサート
- 8月27日(日) ギャラリー・ツアー
- 8月31日(木) 企画検討委員会(財団)
- 9月2日(土) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせ、講師：読み聞かせボランティア「赤ちゃん広場こぶたのぶーぶ」)
- 9月2日(土) 公演「森の時間 JAPAN×竹あかり」
- 9月2日(土) 文学館カレッジ(チェーホフの《サハリン島》特別展覧会に寄せる、講師：斉藤征義)
- 9月7日(木) 文学館カレッジ(吉村昭・津村節子と北海道、講師：平原一良)
- 9月9日(土) 特別展「《サハリン島》2017——アントン・チェーホフの遺産」オープン(～11月19日)
- 9月9日(土) オープニング・ギャラリートーク
- 9月9日(土) 文芸講演会Ⅰ「サハリンという場所——チェーホフのみたもの、そして現在」(講師：外岡秀俊)
- 9月10日(日) 文学館出前講座「吉村昭と北海道」(旭川市、講師：平原一良)
- 9月12日(火) 文学館出前講座「宮沢賢治と旭川」(旭川市、講師：石本裕之)
- 9月14日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」
- 9月15日(金) 企画検討委員会(財団)
- 9月16日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会『芭蕉発句』を読み切る、講師：工藤正廣)
- 9月16日(土) 文学館カレッジ(北海道の児童文学、講師：高橋晶子)
- 9月21日(木) 文学館出前講座「昭和歌謡を読む——なかにし礼の場合」(由仁町、講師：中澤千磨夫)
- 9月23日(土) 文学館まつり(常設展の無料開放、講演会、朗読会、一日限りの資料公開、文庫本古書バザール、親子手作りコーナー、秋のミニ色紙づくりなど)
- 9月28日(木) 文学館出前講座「新聞を使った誰にでも書けるコラム・文章入門」(北見市、講師：柴橋伴夫)
- 9月28日(木) 朗読と演奏「海をわたる弦の響き～音楽と朗読で結ぶサハリンと北海道～」(朗読：工藤正廣、演奏：デュオ・セント+1)

- 9月30日(土) 文学館カレッジ(愉快地川柳講座Ⅵ、講師：岡崎守)
- 10月1日(日) 文芸講演会Ⅱ「『シベリアから』と『サハリン島』を筆写して」(講師：工藤正廣)
- 10月5日(木) 文学館カレッジ(吉村昭・津村節子と北海道、講師：平原一良)
- 10月7日(土) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせ、講師：札幌静修高等学校読み聞かせボランティア)
- 10月7日(土) 文学館カレッジ(チェーホフの《サハリン島》特別展覧会に寄せる、講師：宇佐美多佳子)
- 10月8日(日) トークセッションⅠ「チェーホフのサハリン島をめぐる」(講師：E. フィルソヴァ、A. ステパネンコ)
- 10月9日(月) トークセッションⅡ「文学を生み出す場としてのサハリン」(講師：E. イコンニコヴァ、E. バチニナ、窪田尚、齊藤征義、蜂飼耳)
- 10月12日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」
- 10月14日(土) 文学館出前講座「がらくた人形劇と影絵」(美瑛町、講師：クレヨンカンパニー)
- 10月20日(金) 公演「第4回ロメウス弦楽四重奏団コンサート」
- 10月21日(土) ギャラリートーク
- 10月21日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会『芭蕉発句』を読み切る、講師：工藤正廣)
- 10月21日(土) 文学館カレッジ(北海道の児童文学、講師：谷暎子)
- 10月21日(土) 文学館カレッジ(愉快地川柳講座Ⅵ、講師：岡崎守)
- 10月22日(日) トークセッションⅢ「チェーホフの『サハリン島』をめぐる話」(講師：沼野充義、池澤夏樹)
- 10月28日(土) 異文化セミナー「サハリンの暮らしと北海道」(講師：中谷アナスタシア)
- 10月28日(土) 公演「山口千壽篠笛演奏会 Vol. 9」
- 10月29日(日) ギャラリートーク
- 10月29日(日) 文字・活字文化の日関連事業(北海道文学館公開歌会・句会)
- 11月1日(水) 日仏交流の夕べ「オリエンタルピアノ LE PIANO ORIENTAL」を語る(講師：ゼイナ・アビラシエド、池澤夏樹)
- 11月2日(木) 文学館カレッジ(吉村昭・津村節子と北海道、講師：平原一良)
- 11月3日(金) 古典の日記念事業朗読会(講師：安藤千鶴子、保坂和加枝)
- 11月3日(金) 文学館出前講座「人形劇と腹話術」(初山別村、講師：人形劇団ブランコ)
- 11月4日(土) ギャラリートーク
- 11月4日(土) わくわくこどもランド(マリオネット劇、講師：おたのしみ劇場ガウチョス)
- 11月4日(土) 文学館出前講座「宮沢賢治作品の朗読とカンテラ演奏」(中札内村、講師：村井裕子、あらひろこ)
- 11月4日(土) 公演「SAPPORO WING CONCERT Vol. 2」
- 11月5日(日) トークセッションⅣ「[サハリン×北海道]現代絵画について語り合う」(講師：L. アスピナ、谷地元麗子)
- 11月6日(月) ロビーコンサート(出演：和の会)
- 11月7日(火) ロビーコンサート(出演：アンサンブル・リベラ・バロッコ)
- 11月8日(水) 文学館出前講座「がらくた人形劇と影絵」(函館市、講師：クレヨンカンパニー)
- 11月8日(水) 文学館出前講座「宮沢賢治の謎にせまる」(足寄町、講師：齊藤征義)
- 11月9日(木) 文学館出前講座「昭和歌謡を読む——なかにし礼の場合」(雨竜町、講師：中澤千磨夫)
- 11月9日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」
- 11月12日(日) 「大人のためのサハリン昔語り」(講師：札幌おはなしの会)
- 11月12日(日) 「魅惑のマンダリン&ギターのしらべ～懐かしいロシアの歌から」(出演：トロア・クブルス、佐藤洋一)
- 11月15日(水) 文芸講演会Ⅲ「サハリン発、チェーホフさんこんにちは」(講師：児島宏子)
- 11月18日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会『芭蕉発句』を読み切る、講師：工藤正廣)
- 11月18日(土) 文学館カレッジ(北海道の児童文学、講師：梅沢明史)
- 11月18日(土) 文学館カレッジ(愉快地川柳講座Ⅵ、講師：岡崎守)
- 11月23日(木) 公演「ダヴィデ・ジョヴァンニ・トシマ ギターリサイタル」
- 11月26日(日) 映画上映会「丹下左膳 百万両の壺」
- 11月29日(水) 文学館出前講座「人形劇と腹話術」(札幌市、講師：人形劇団ブランコ)
- 12月2日(土) ファミリー文学館「絵本の動物園へようこそ」オープン(～1月21日)
- 12月2日(土) 親子手作りコーナー「ゆるゆるアニマルをつくろう」(～1月21日)
- 12月2日(土) 第12回北海道小・中・高生短歌コンテスト表彰式

- 12月9日(土) 公演「ふらっとお楽しみこんさーと」  
 12月10日(日) わくわくこどもランド(手作り教室「ツリーをつくろう!」)  
 12月12日(火) ミニ巡回展「ワン!ニャン!どっちも大好き」(～12月22日、名寄市)  
 12月14日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」  
 12月16日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会『芭蕉発句』を読み切る、講師:工藤正廣)  
 12月17日(日) ワークショップ「どうぶつすごろくをつくろう!」  
 12月23日(土) わくわくこどもランド(クリスマススペシャル、講師:読み聞かせボランティア「トムテ」)  
 12月23日(土) 文学館カレッジ(愉快地川柳講座Ⅵ、講師:岡崎守)  
 12月24日(日) どうぶつ絵本読み聞かせ
- 平成30年
- 1月8日(月) わくわくこどもランド(手作り教室「カルタをつくろう!」)  
 1月11日(木) ワークショップ「パタパタアニマルをつくろう」(講師:堀川真)  
 1月13日(土) 対論「北海道文学の可能性」(講師:岡和田晃、川村湊)  
 1月14日(日) 講演会「あべさんに教えてもらおう、動物のこと」(講師:あべ弘士、演奏:明楽みゆき)  
 1月19日(金) 資料収集選定委員会(財団)  
 1月20日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会『芭蕉発句』を読み切る、講師:工藤正廣)  
 1月21日(日) どうぶつ絵本読み聞かせ  
 1月27日(土) 文学館カレッジ(愉快地川柳講座Ⅵ、講師:岡崎守)  
 2月3日(土) 特別展「有島武郎と未完の『星座』」オープン(～3月25日)  
 2月3日(土) オープニングギャラリートーク  
 2月3日(土) オープニング文芸講演会「有島武郎と出版——新潮社からの新発見資料・原稿『星座』にふれて」(講師:中島国彦)  
 2月3日(土) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせ、紙芝居ほか、講師:札幌静修高等学校生)  
 2月4日(日) 朗読会「高校生が読む有島武郎の名作」(講師:札幌旭丘・札幌静修・札幌日本大学高等学校放送局)  
 2月6日(火) 読書会「有島武郎を読む」(講師:工藤正廣)  
 2月8日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」  
 2月9日(金) 講座「有島武郎を知る」(講師:中澤千磨夫)  
 2月10日(土) 文芸講演会「〈学問〉する青年と女性たち——有島武郎『星座』精読——」(講師:中村三春)  
 2月11日(日) 映画上映会「白痴」  
 2月16日(金) 森雅之ミニ映画祭「安城家の舞踏会」  
 2月17日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会『芭蕉発句』を読み切る、講師:工藤正廣)  
 2月18日(日) 対談「有島武郎と北大恵迪寮」(講師:神谷忠孝、藤田正一)  
 2月22日(木) 公演「ジュディカエル・ペロワ ギターリサイタル」  
 2月23日(金) 第2回理事会(財団)  
 2月24日(土) 文学館カレッジ(愉快地川柳講座Ⅵ、講師:岡崎守)  
 2月25日(日) 有島武郎でビブリオバトル(協力:札幌ビブル)  
 2月27日(火) 講座「有島武郎を知る」(講師:柴橋伴夫)  
 3月2日(金) 森雅之ミニ映画祭「雨月物語」  
 3月3日(土) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせ、講師:読み聞かせボランティア「トムテ」)  
 3月4日(日) 私劇「カインの末裔に寄す」(出演:柴田智之)  
 3月6日(火) 読書会「有島武郎を読む」(講師:久保田知恵子)  
 3月8日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」  
 3月8日(木) 理事等選任のための検討委員会(財団)  
 3月9日(金) 森雅之ミニ映画祭「蟹工船」  
 3月11日(日) 北海道開拓の村・有島ゆかりのスポットをめぐるミニツアー(講師:前川公美夫)  
 3月11日(日) 公演「震災チャリティーコンサート「森の時間 SNOW HOKKAIDO TAKEAKARI」」  
 3月13日(火) 講座「有島武郎を知る」(講師:岡部卓)  
 3月14日(水) 読書会「有島武郎を読む」  
 3月17日(土) 朗読会「高校生が読む有島武郎の名作」(講師:札幌旭丘・札幌静修・札幌日本大学高等学校放送局)  
 3月20日(火) 講座「有島武郎を知る」  
 3月23日(金) 第2回評議員会(財団)

### III 公益財団法人北海道文学館役員名簿

(平成30年3月31日現在)

顧問	池澤 夏樹 李 恢成	加藤 幸子	木原 直彦	小檜山 博	神谷 忠孝	荒巻 義雄 <7名>
参与	加藤 多一 藤堂志津子 吉田 秋陽	木村真佐幸 永井 浩 辻脇 系一	小杉 捷七 原子 修 谷 暎子	佐々木 譲 比良 信治 出村 文理	鈴木 光彦 村田 俊秋 野坂 幸弘	高嶋 二郎 八子 政信 源 進 <18名>

#### 役職員

理事長 1	工藤 正 廣	監 事 1	中 村 孝 一 生	評 議 員 1	阿知良 光 治
副理事長 2	内田 弘 弘	// 2	森 一 生	// 2	石本 裕 之
// 3	平原 一 良			// 3	植松 美由紀
// 4	酒向 一 憲 司			// 4	飯塚 優 子
専務理事 5	谷口 孝 男			// 5	岸 美千代
常務理事 6	高塚 信 之			// 6	熊谷 ユリヤ
理 事 7	岡崎 守 夫			// 7	佐藤 将 寛
// 8	片山 晴 夫			// 8	柴橋 伴 夫
// 9	國松 明日香			// 9	若宮 明 彦
// 10	斉藤 征 義			// 10	高橋 秀 明
// 11	柴村 紀 代			// 11	田口 耕 平
// 12	瀬戸 正 昭			// 12	田中 綾 隆
// 13	立花 峰 夫			// 13	中 館 寛 隆
// 14	本田 優 子			// 14	中 村 三 征
// 15	前川 公 美 夫			// 15	橋 本 野 温
// 16	安高 誠 吾			// 16	平 野 東 洋
// 17	和田 由 美			// 17	松 嶋 秀 彦
// 18	中澤 千 磨 夫			// 18	五十嵐 秀 彦
// 19	澤 田 展 人			// 19	田 湯 岬 子
				// 20	日 浅 尚 子
				// 21	三 浦 幸 司

#### 収集資料選定委員会

副理事長 平原 一 良  
参与 辻脇 系 一  
参与 出村 文 理  
参与 谷 暎 子  
評議員 中 館 寛 隆

#### 企画検討委員会

理事長 工藤 正 廣  
委員長 内田 弘 弘  
理事 平原 一 良  
酒向 一 憲 司  
谷口 孝 男  
安高 誠 吾  
中澤 千 磨 夫  
柴村 紀 代  
瀬戸 正 昭  
柴橋 伴 夫  
高橋 秀 明  
五十嵐 秀 彦  
飯塚 優 子

評 議 員

平成29年度年報（平成31年2月発行）

HOKKAIDO MUSEUM OF LITERATURE

**北海道立文学館**

〈指定管理者〉公益財団法人 北海道文学館

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1番4号  
TEL(011)511-7655 FAX(011)511-3266